



次世代デジタル道路情報委員会 報告会

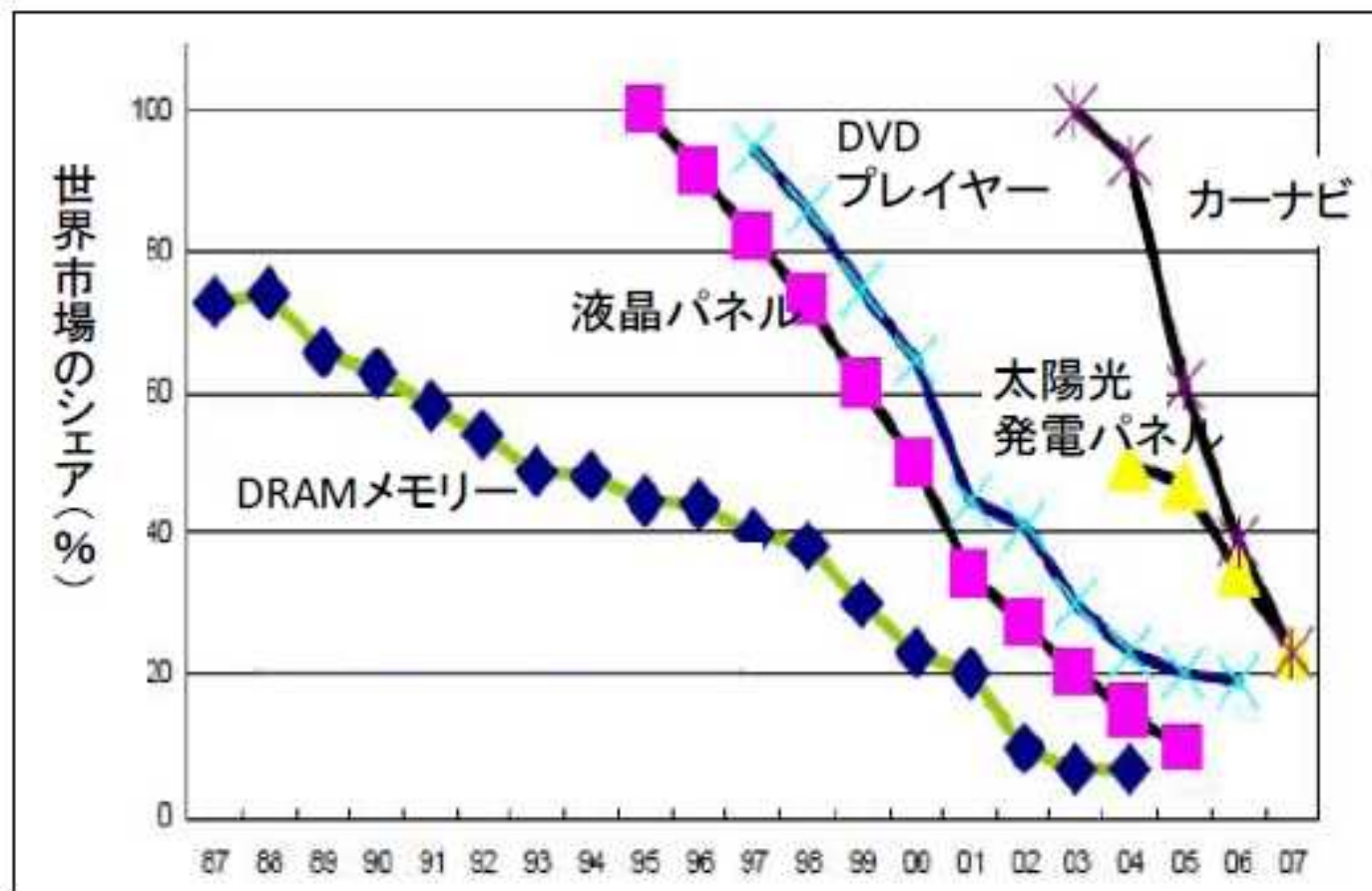
「次世代デジタル道路情報委員会の活動」

2011年3月16日(水)

ITS Japan「次世代デジタル道路情報委員会」

委員長 浜田 隆彦

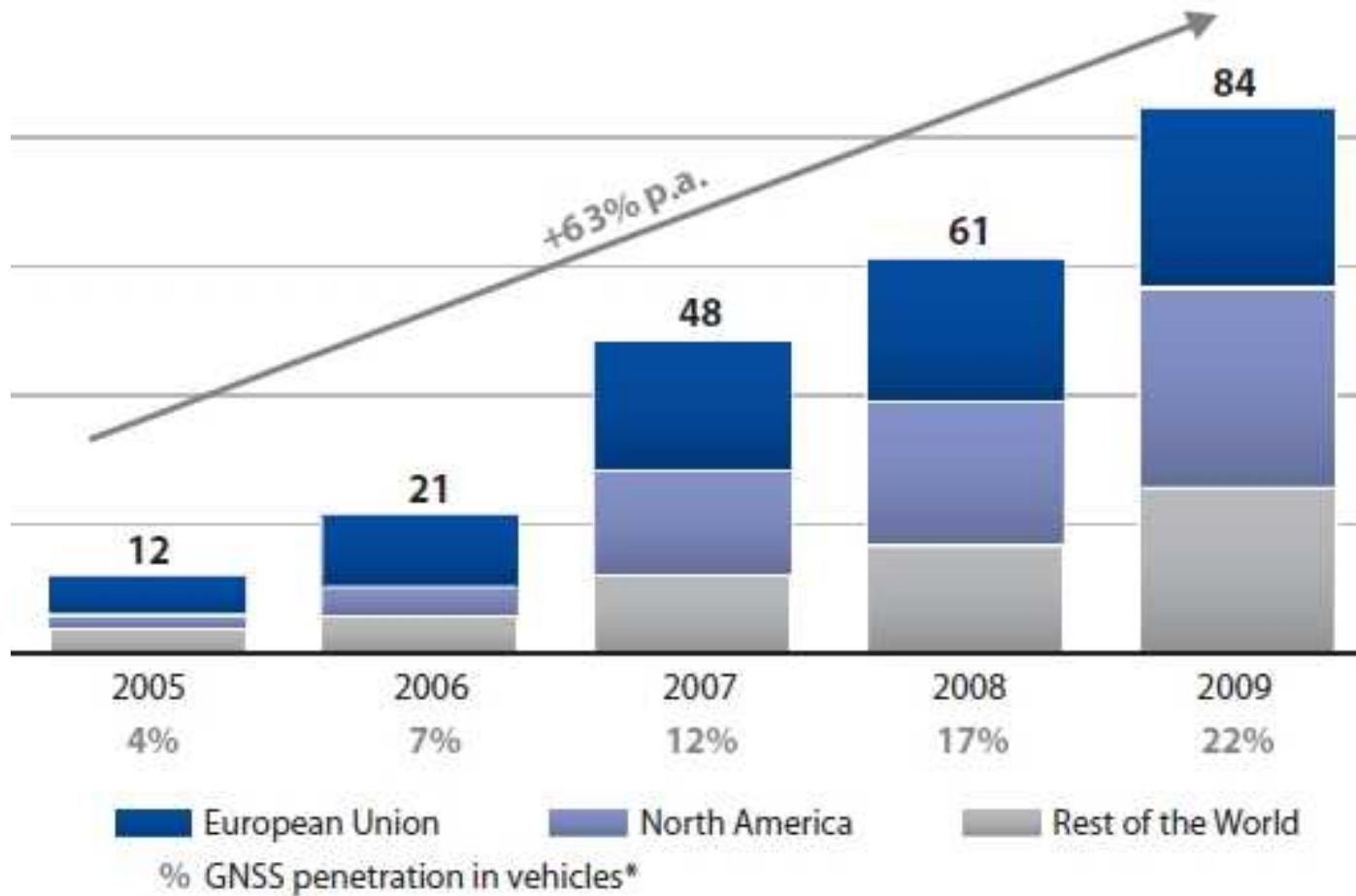
図 I-2-15 世界市場のシェアの推移



出所:各種資料を基に経済産業省作成



Worldwide shipments of GNSS devices in road sector (mln units)

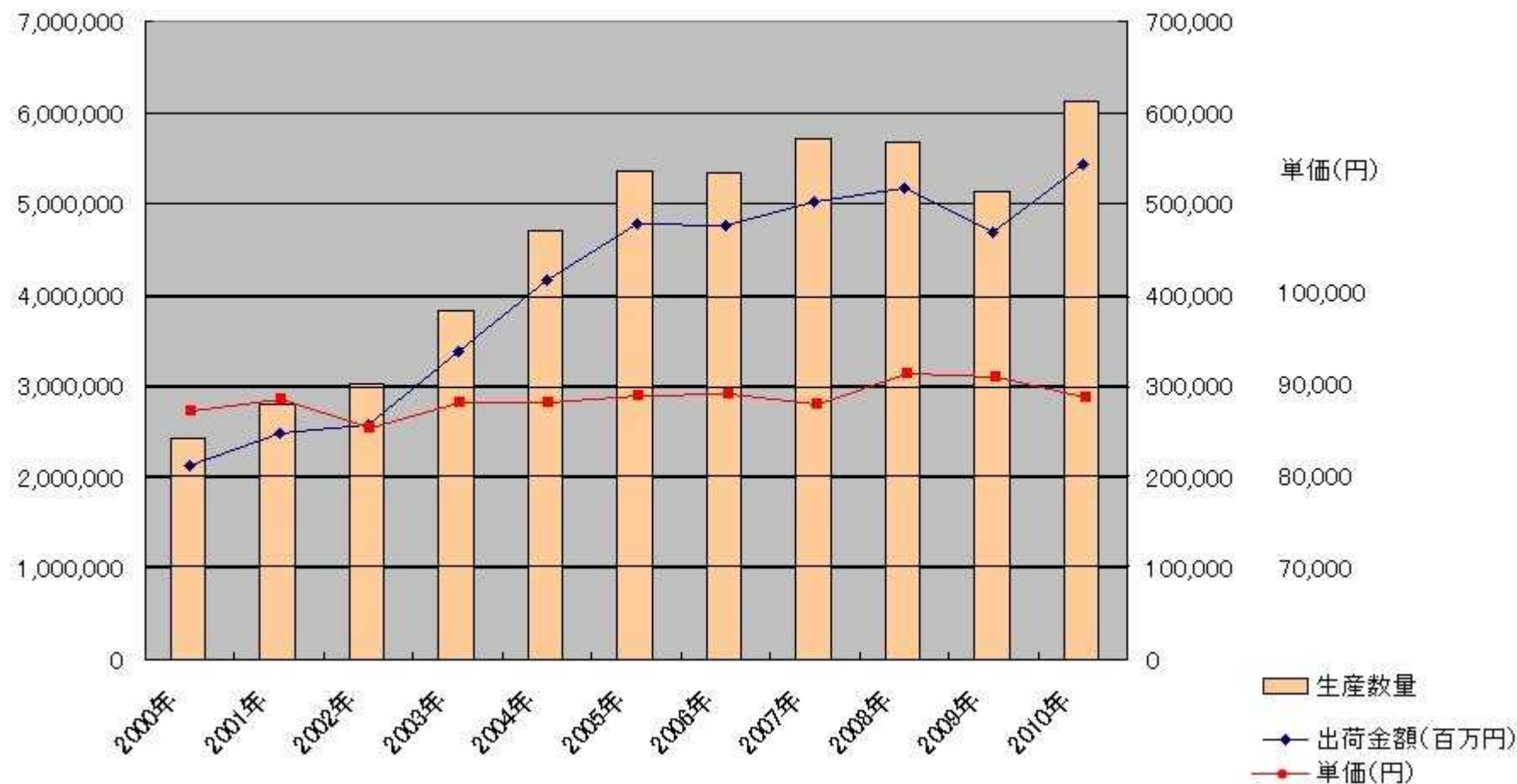


生産数量
台

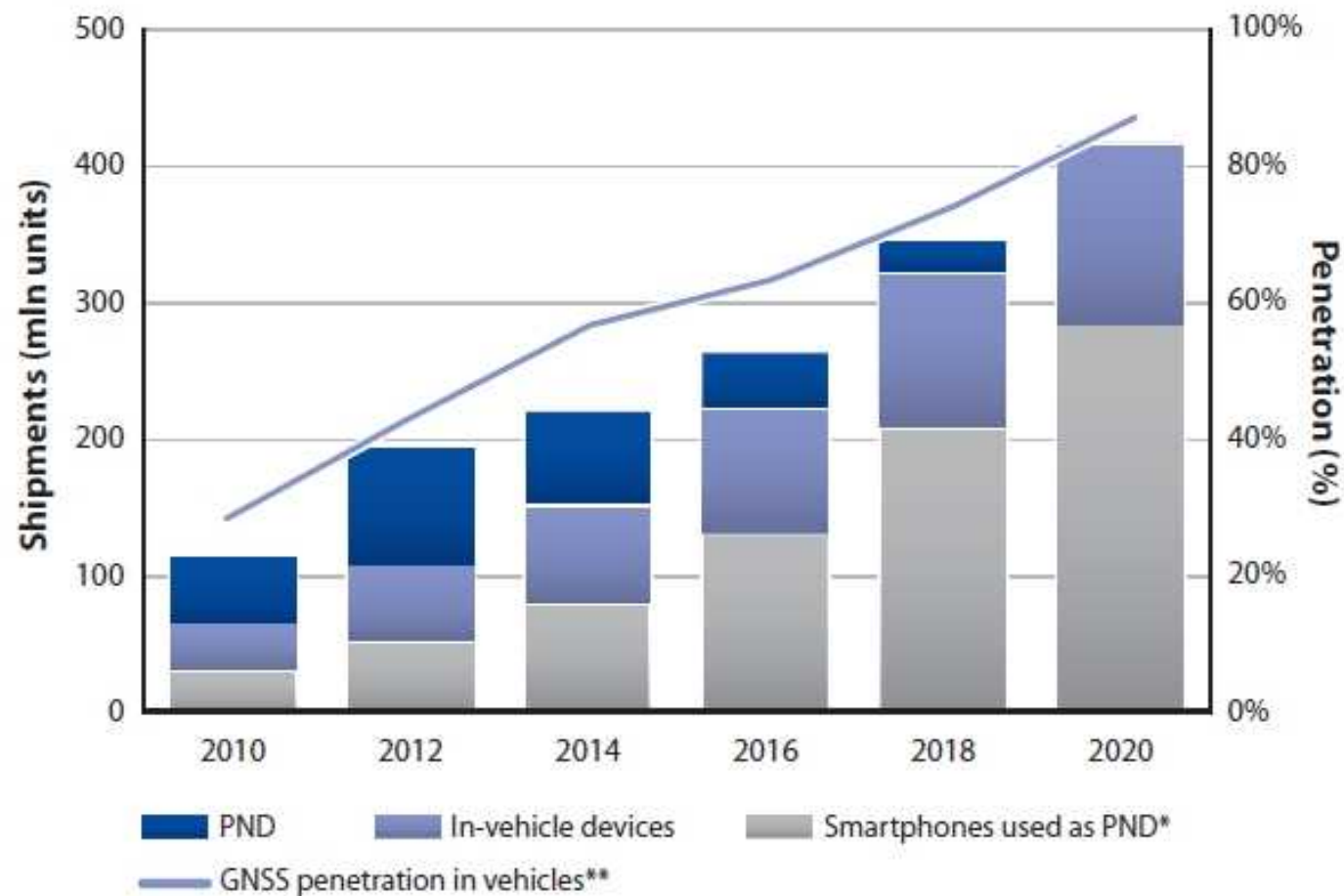
カーナビ生産実績

出荷金額
百万円

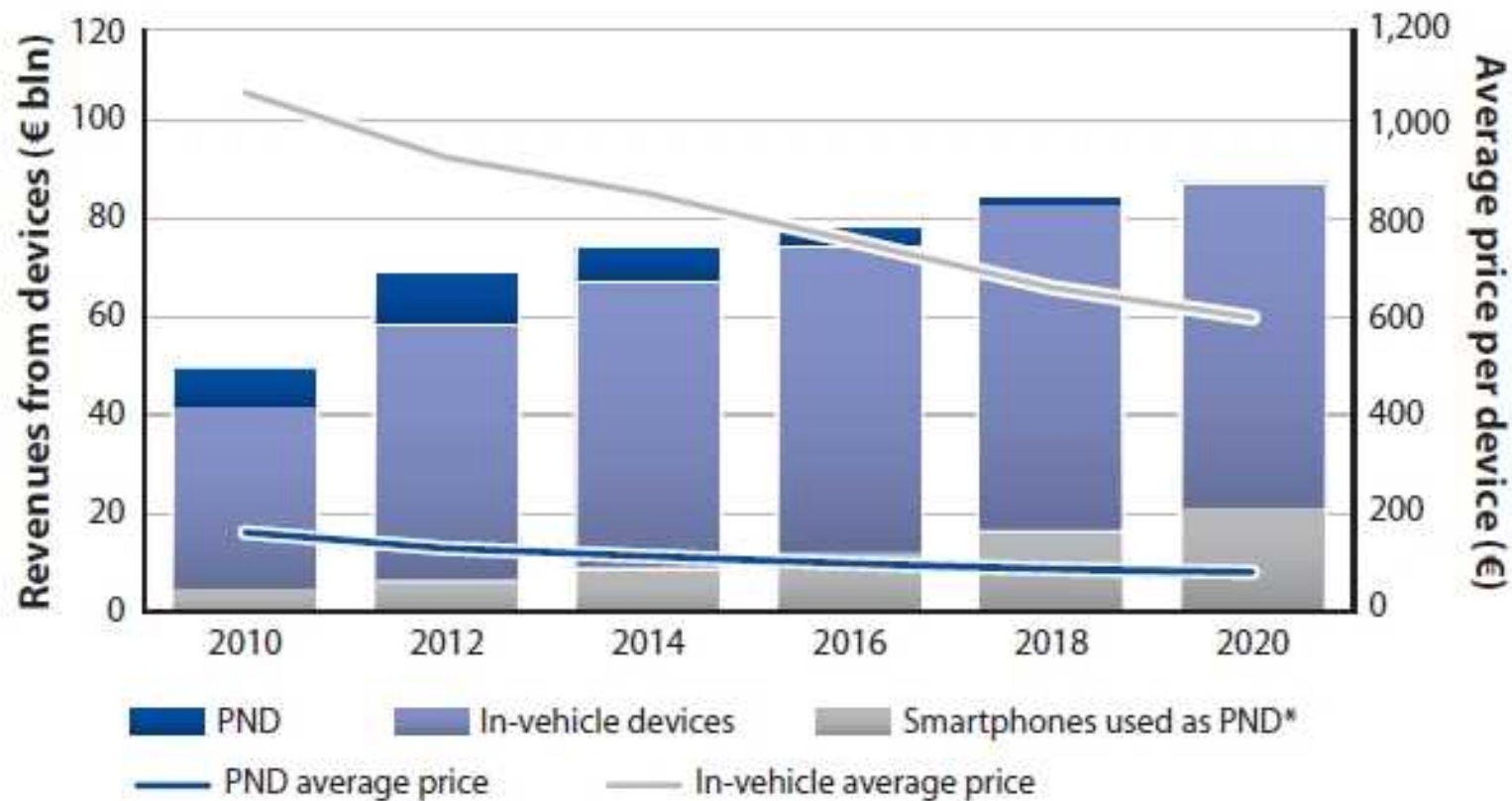
JEITA



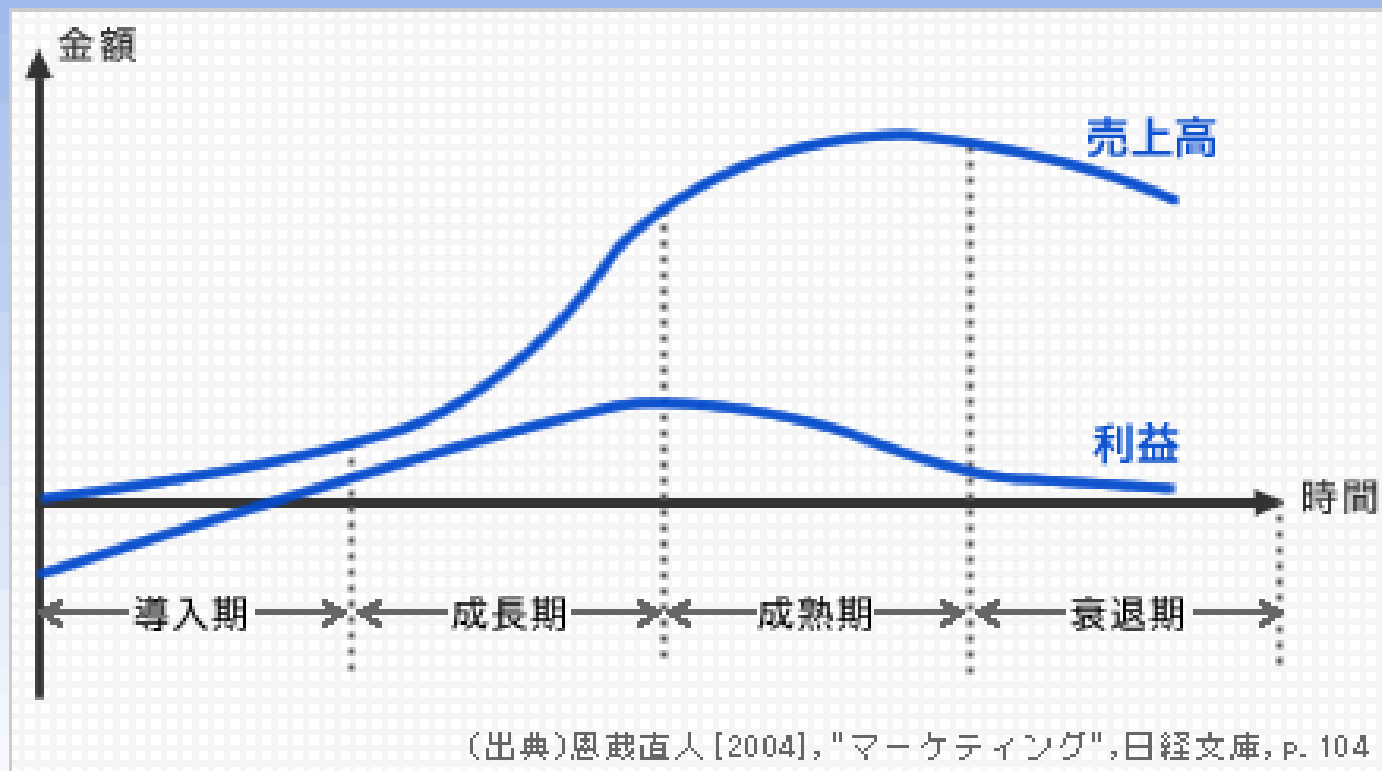
Worldwide shipments (mln units) and penetration (%) of installed base of GNSS devices in road sector



Global GNSS market size (€ bln) and device prices (€) in road sector



典型的なプロダクト・ライフサイクル



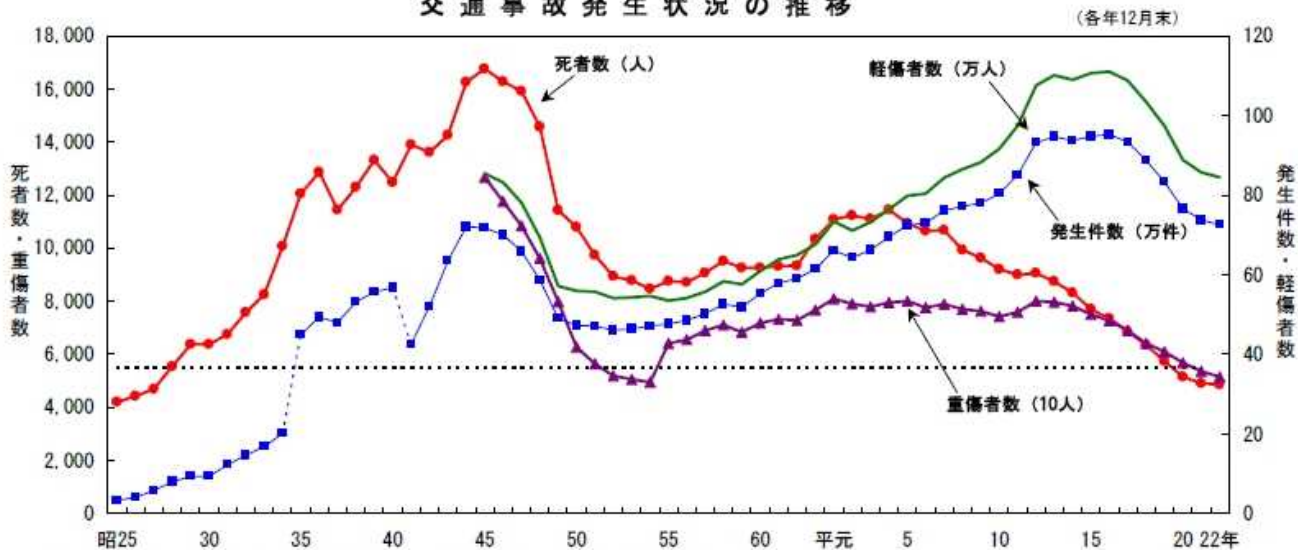
カーナビは成熟期から衰退期に向かっているのか？



交通事故の発生状況

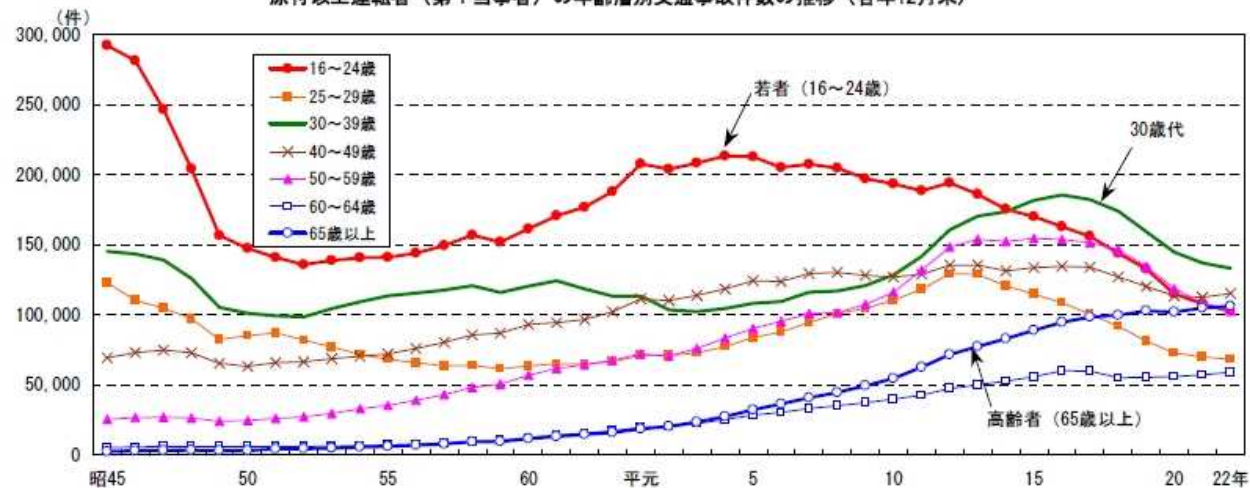
(警察庁交通局「平成22年中の交通事故の発生状況」)

交通事故発生状況の推移



- 注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。
- 注2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。
- 注3 昭和46年までは、沖縄県を含まない。

原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別交通事故件数の推移（各年12月末）

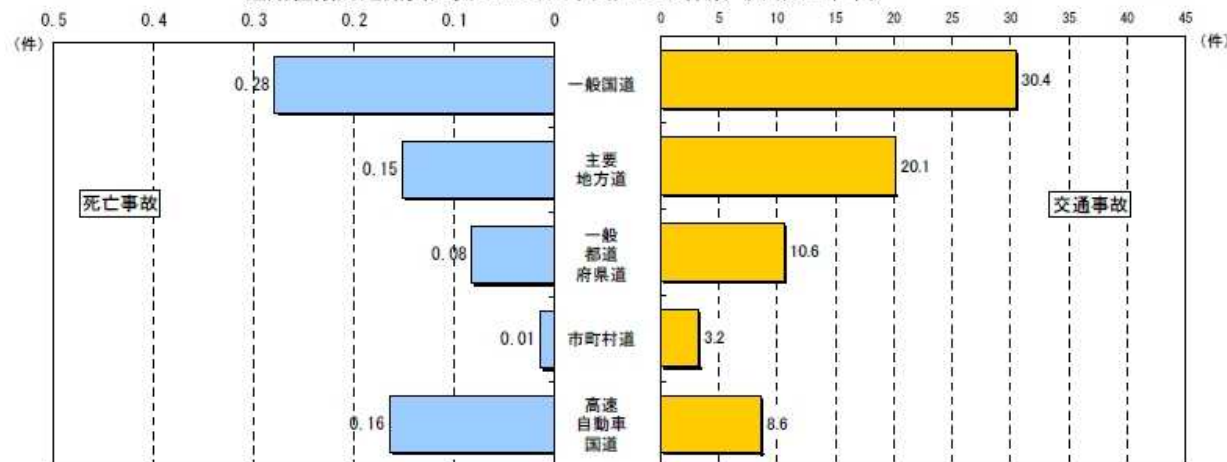


地形別・道路形状別交通事故件数（構成率）（平成22年中）



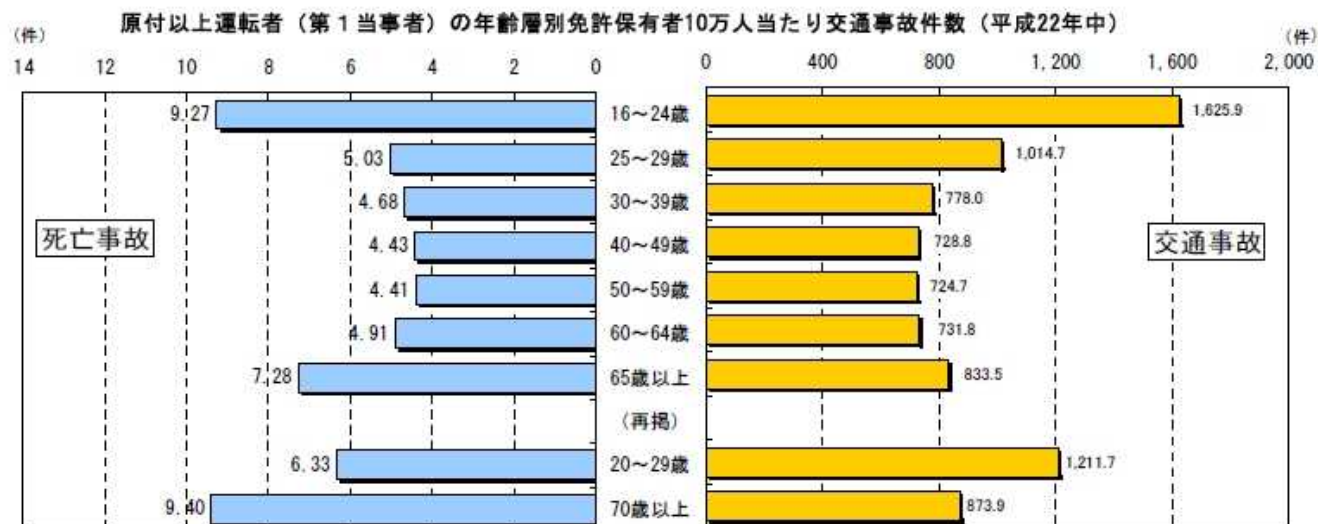
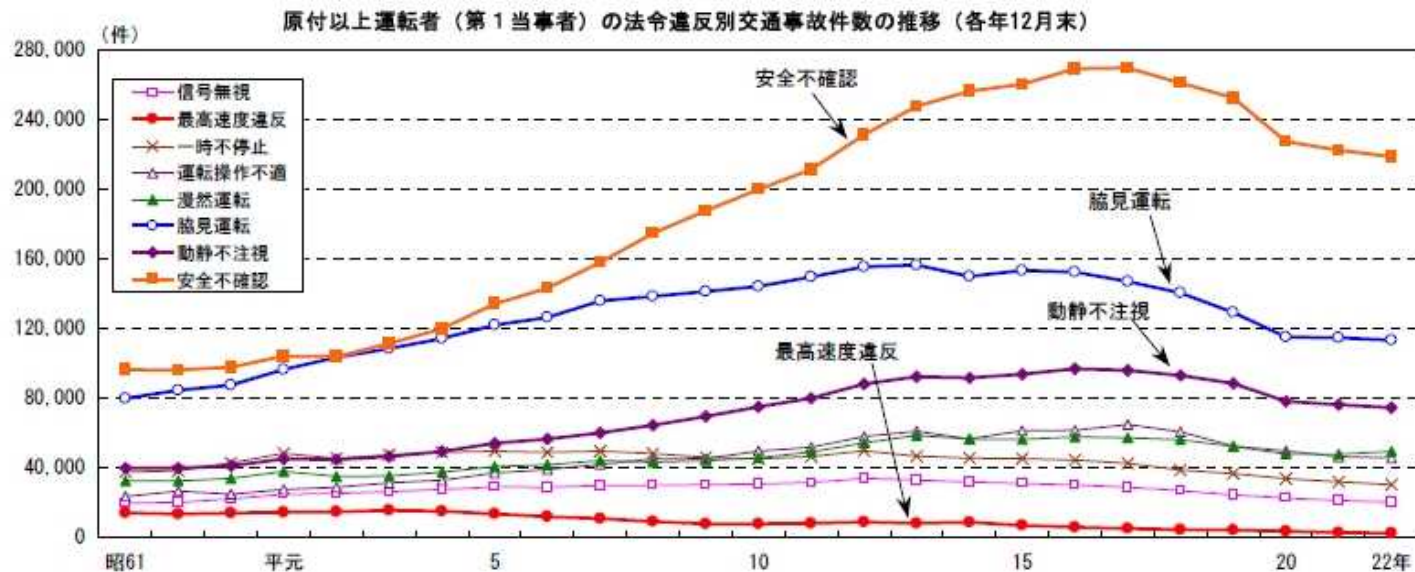
注：交差点には交差点付近を含む

道路種類別道路実延長10km当たり交通事故件数（平成22年中）



注1 算出に用いた道路実延長は、国土交通省統計資料「道路統計年報（平成21年4月1日現在）」による。

注2 交通事故件数には、自動車専用道を含まない。





「安全・環境に資する走行支援サービス実現のための道路情報整備と流通へ向けた提言」(平成20年4月)

10 / 20

安全・環境に資する走行支援サービス実現のための
道路情報整備と流通へ向けた提言

平成 20 年 4 月

特定非営利活動法人 ITS Japan

- 走行支援サービスの地図データへの新たな要件

	利用シーン	地図データへの要求性能
経路案内サービス	経路探索による走行経路を走行する際の道路情報の提供 非日常的利用	走行経路の道路情報が 正しい こと
走行支援サービス	通常に走行する際の道路情報の提供 日常的利用	走行する可能性のある道路の道路情報が 網羅 されており、その情報が 正確 であり、かつ、 鮮度 が確保されていること



新たな道路情報整備と流通の仕組みが必要



- 制限速度警告



Mercedes-Benz Speed Limit Assist



Garmin nivi760



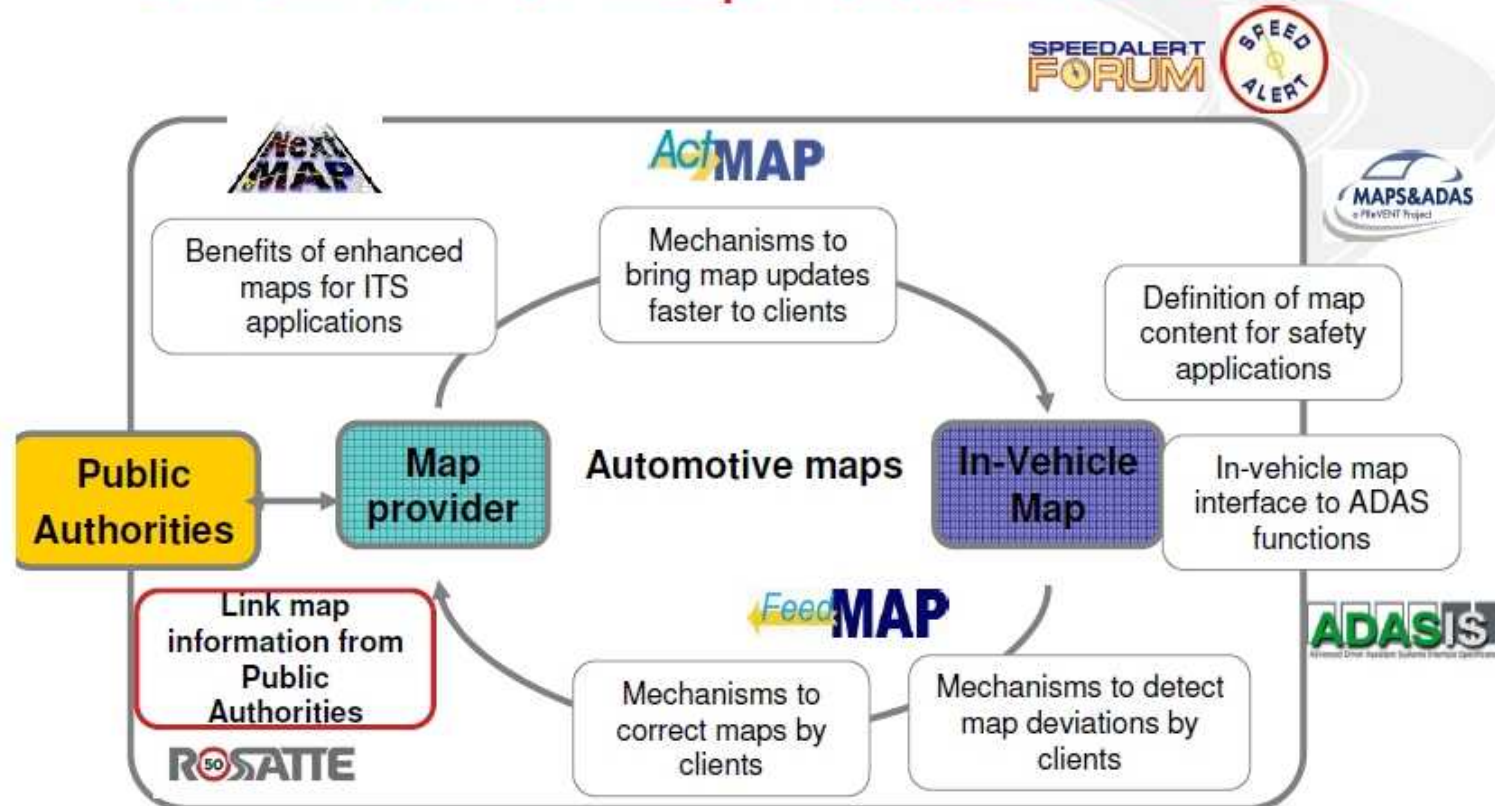


ROSATTE

- ROad Safety ATtributes exchange infrastructure in Europe
- Funded by EC DG INFSO
- Overall budget: € 4.6 million
- Funding: € 3.0 million
- Started: 01.01.2008
- Duration: 36 months
- Coordinated by ERTICO – ITS Europe



Overview of map-related activities





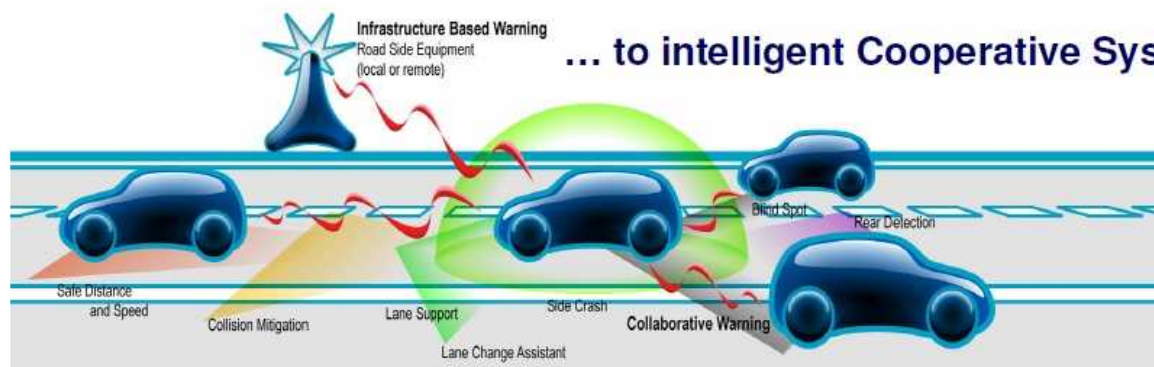
The SAFESPOT concept

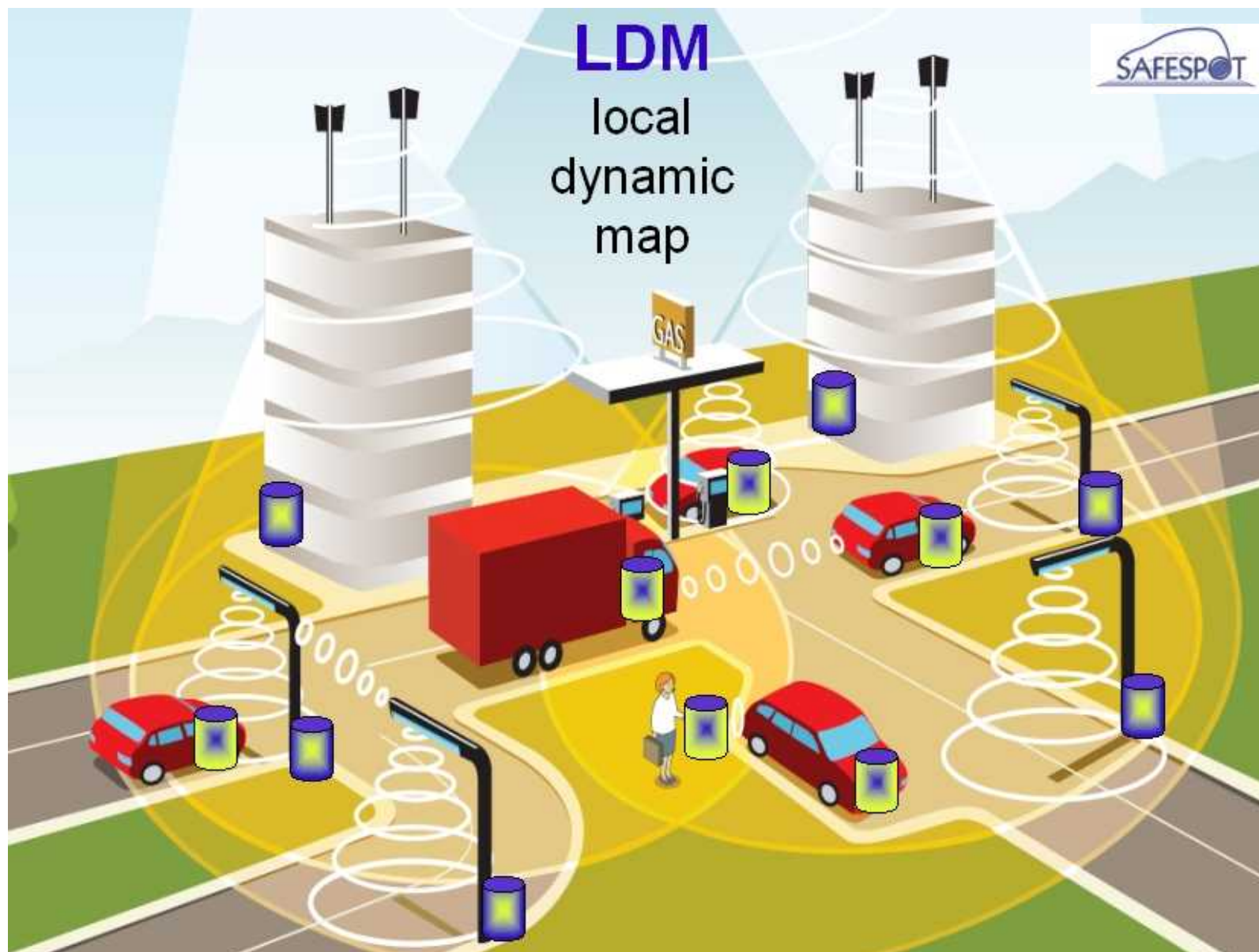


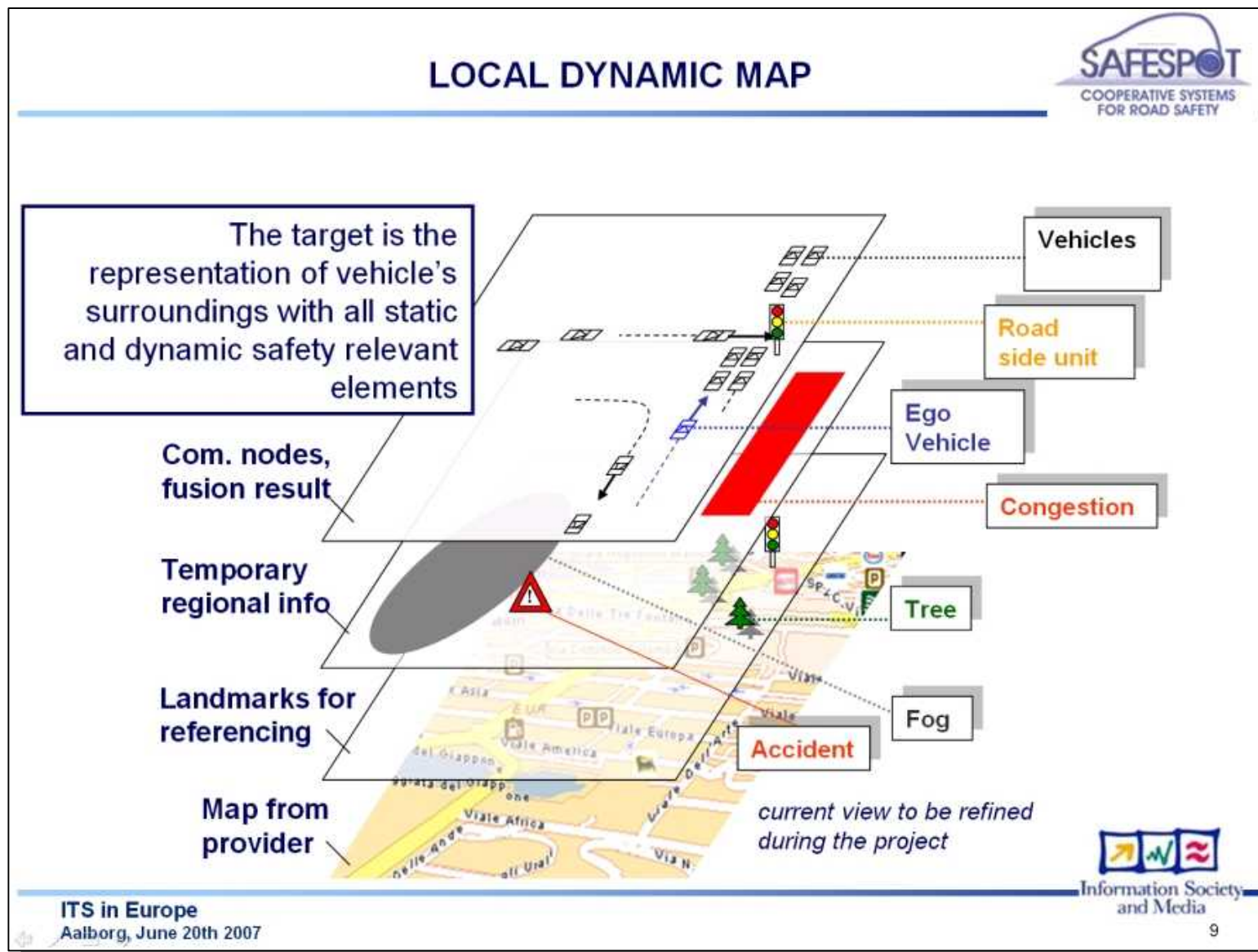
The SAFESPOT CONCEPT:
from the autonomous intelligent vehicle...



... to intelligent Cooperative Systems







		~平成19年度 (2007年)	短期	中期	長期	
想定する走行支援サービス			先行的な実験	道路情報を活用したサービス		
					高精度地図を活用したサービス	
				災害情報の共有、カーナビユーザの	情報の共有	
アクションプログラム	サービス		道路情報を活用したサービス検討		道路情報を活用したサービス	
				高精度地図を活用したサービス検討	高精度地図を活用したサービス	
	共通基盤	道路の共通位置参照方式の整備/運用の検討	テスト運用		実運用	
			高精度地図の要件検討			
		道路基盤地図情報の蓄積・利用検討			道路基盤地図情報の整備・提供	
	道路情報		標識情報の提供検討	テスト運用		標識情報提供
			規制情報の提供検討	テスト運用		規制情報提供
			地方道情報の提供検討	テスト運用		全国展開
	災害情報				災害情報の提供検討	災害情報提供サービス
	ITS Japanの活動		提言書	報告書	報告書	報告書

- 道路情報を活用する走行支援サービス

分類	概要	活用する道路情報	サービス例
注意喚起	走行する上で注意すべき情報をドライバーに提供し、注意喚起を行う	変化しない静的な情報と、時間と共に変化する動的な情報がある	速度超過警告 一旦停止警告
安全運転支援 ASV (Advanced safety Vehicle)	車載センサ(カメラ、レーダー)を利用して走行安全性を確保する	基本的には道路情報は活用しない 但し、車載センサが感知できないエリアを地図データで補う手法(ADAS Horizon)も開発されている	衝突被害軽減ブレーキ ACC レーンキープアシスト ふらつき警告 ESC
協調システム	交差点等の交通が交差する場所において、車と車、車と道路が通信により情報交換を行い、対向車、歩行者の存在をドライバーに知らせ、交差点通過時の安全性を確保する	交差点の高精度地図	路車協調システム 車車協調システム

- 共通基盤
 - 道路の共通位置参照方式
 - 道路基盤地図情報
- 道路情報
 - 道路更新情報
 - 地方道の情報
 - 交通規制情報
- 災害情報
- 移動支援サービス